

KAYUKAI

香友会だより

ごあいさつ

同窓会会長
松本 康範

香友会会員の皆様には、日頃より香友会並びに母校のためにご理解とご尽力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、昨平成三十年は校名制定「高松南高校五十年香川高校七十年」を記念する年でありました。そこで、祝賀行事として、九月八日(土)の南高祭公開日に中国雑技団特別企画を開催しました。変面というお面を素早く変える技や皿回し・鞭・一輪車という中国の伝統芸能を現役生と同窓生が一緒に観劇し、楽しめました。感動の時間を共有することが同窓生の絆を深める絶好の機会になったと思っております。

また、樹齢百年を超えるヒマラヤ杉を校舎改築に伴い平成二十六年正

門前に移植したわけですが、移植地になじむことができず残念でした。

しかし、環境科学科の旧職員の方がその種から二世木を育てており、正門前に移植することができました。

その植樹記念碑を二世木の横に設置し、よき伝統が末永く継承され学ぶ者の健やかな発展を祈る次第です。

令和と改まった新年度、校舎改築の第二期工事も完了、今春から新校舎で学んでいます。入学式等学校行事の度に拝見し、挨拶よし、行動よしの若き後輩達を頼もしく感じています。

また、創立110周年記念を控えるに当たり、支部の構築を図りたいと考えています。今こそ、同窓の絆を強め、周年事業が成功裡に挙行できますよう、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、会員皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げご挨拶いたします。

ごあいさつ

校長
平畑 博人

香友会の皆様には日頃から南高校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。南高校二年目を迎えることができました。来年の三月末で定年ですので、今年度が最後の年となります。どうか変わらず、よろしくお願い致します。

卒業する中学生が減少した影響から入学定員が普通科で二十名と生活デザイン科で五名の計二十五名減となり、今年度の新入生は二百七十名でした。三学年合計で八百五十三名、専攻科の六十七名を加えると、生徒総数は九百二十名。日本一だった頃とは比べものにもなりません。現在でも県下で最大規模の在籍者数を誇っています。教職員は校長や教頭

を含め百四名。看護科や福祉科などで特定の授業だけを教えるに来て頂くいわゆる時間講師等を含めると二百名に近く、県下の高等学校では群を抜く数となっています。教諭七十一名の平均年齢が四十三、六歳。まだまだ五十歳台が多いのですが、年齢構成をグラフにすると正規分布に近い図を描くことができます。

今年度一番のニュースは、平成二十一年二月の旧本館取り壊しから数え丁度十年を費やした一連の校舎改築がようやく完成し、新しい校舎に新入生を迎えることができたことでしょうか。古い校舎の取り壊しや跡地の整備などまだしばらくは工事現場のようですが、是非一度お越しください。創立百九年、令和の時代を迎えた新しい南高校の姿をご覧いただければと思います。

昨年度も部活動などで多くの南高生が活躍したことで同窓会の皆様から激励や報奨金を頂いたことが、とても生徒の励みになっています。本



発行者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 松本康範
香川県高松市一宮町531
印刷所 (株)中央印刷所

当にありがとうございました。主な成績はこの「香友会だより」の中に記載されていますのでゆくりとご覧頂くと、加えて注目して頂きたいのは大相撲です。平成三十一年三月に環境科学科を卒業した白川大貴君が、元小結の遠藤関が所属する追手風部屋へ入門しました。七ペー

ジに本人の文章も載っていますが、「大喜翔」の四股名を頂き、五月場所では東序二段七十三枚目で登場し、六勝一敗と活躍しました。平成二十三年三月卒の佐々木宗夫君(追手風部屋「大翔宗」西三段目四十九枚目)以来の角界入門です。応援をよろしくお願いします。

生徒たちは朝早くから夜遅くまで、自分の夢の実現に精一杯の努力を重ねています。どうか、後輩たちの活躍にご期待ください。

結びになりましたが、会員の皆様のご健勝と香友会の益々のご発展をお祈りし、挨拶とさせていただきます。



南高百景

第二校舎と自転車置き場



「南高百景」も6回目となります。今回のテーマは「第二校舎」です。校長先生のごあいさつにもありますように、新しい校舎が完成しました。吹き抜けを挟んで教室が向かい合っており、東西に外階段を備え、テラスもあります。機能性とデザインに優れ、都会のオフィスのようなでもあります。この新校舎に関しては別の機会にふれるとします。さて、この新校舎の完成により、第二校舎が解体されることになり、現在工事が始まっています。



正門をくぐり、第一校舎の奥の北グラウンド側に第二校舎がありました。学校史などを見ると第二校舎は昭和四十五年竣工とあります。長い横幅を持ち、当時としては斬新なものだったのではないかと思います。多数のホームルーム教室、そして家庭科や美術等の特別教室があり、多くの生徒がここで学んできました。平成十年の大規模改修、平成十八年の耐震の工事を経て昨年度まで南高を支えてきたのです。まだ第一校舎があった頃は、東端が専攻科棟でつながっており、ヒマラヤ杉などが立っていた中庭を挟んで、第一校舎とともにコの字型の巨大な校舎を形成していました。



この第二校舎で過ごした生徒は多く、この稿をお読みいただいているみなさまの中にも思い入れの深い方がいらっしやると思います。(私も高校二年生のときのホームルーム教室が第二校舎にありました) 前述したように第二校舎はグラウンド側に面しており、特に三階の窓からはグラウンドと南側の景色がよく見え、私も授業中の机間巡視の合間に目をやると、北グラウンドで生徒が体育の授業で活動している様子が見られました。

そしてその第二校舎のすぐ北に自転車置き場があります。トタンのような屋根で、天井があまり高くなく、簡素な作りですが、なかなか味わいがあり、これはこれで残しておきたいと思うほどです。もう古くなっており、あちこちに綻びも見えますが、昨年度まで勤めを全うしてくれました。

このように六十年の間、生徒を見守り、育ててくれた施設がなくなってしまうのは寂しいです。(これで私の高校時代からのオリジナルの建物は、専門学科のものを除けば、北体育館だけになってしまいます)。あるOBの方が「校舎や風景が変わってしまふのは仕方がないこと。自分の心の中に留め、次に生かしていくことが大切である」という趣旨のことをおっしゃっていたことがあります。

私は第二校舎に感謝すると同時に、新しい校舎がこれからの生徒たちの心に何かを残し、良いものを作ってくれる存在になると確信しています。

香友会事務局 亀田 直樹

支部だより

〈関西支部だより〉

関西支部支部長 中澤 正信

香友会の皆様関西支部からお便りをします。今年は平成から令和と元号が変わり、私は新しい時代が開けたと新たな気持ちになり健康に留意して元気で頑張らなければと思います。新たにしました。香友会の皆様は如何でしょうか。

挨拶が遅れて申し訳ありません。私は昭和三十七年に卒業し現在も関



西で生活をしている中澤正信と申します。昨年四月に関西支部長「太田

喬」様のご勇退に伴い支部長をとの推薦を頂き責任が重くご辞退しましたが、是非ともとの要請により少しでもお役に立てればと思ってお受けしました。よろしくお願い致します。早くご報告と思っていました。が昨年は体調を崩し今回の報告となりました。

関西支部の総会はこれまでご報告のとおり隔年毎に開催しております。令和元年の今年で第十七回となります。「継続は力なり」と言われていますが単純に数えれば発足して三十四年となります。この継続もこれまでお世話をして頂いた役員の諸先輩方や関西支部の会員皆様の高松南高校を思う愛校心のお陰と改めて思う次第です。

第十七回の総会は、
日時 令和元年10月20日(日)
午前十一時三十分開会
場所 道頓堀ホテル
大阪市中央区道頓堀二丁目

電話 〇六―六二―三九〇四〇
三十五

で開催を予定しています。高松からは香友会の松本会長はじめ、母校から校長先生はじめ多数の先生方のご出席の予定です。在校生の元気で

勉学に励む様子や部活における活躍などをお聞かせ頂ければと思っております。また嬉しいことに長年関西支部局長として支部を支えて頂いた金子玲子様のご出席の予定です。当時の思い出やご苦労話をお聞かせ頂き、これからの支部の糧にしたいと思っております。

前太田支部長の「支部だより」にあるとおり、総会は同期会、部活動の同窓会でもあり、思い出の交流会です。関西に在籍の皆様には案内状を差し上げます。楽しい企画を用意しておりますので、令和元年に昭和、平成時代の懐かしい思い出話に花を咲かそうではありませんか。元号も新たになりました。是非ご出席をお待ちしております。

最後になりましたが、母校の益々の充実と発展を祈念しております。

〈一宮支部だより〉

一宮支部長 安田 正彦

「初春の令月にして、氣よく風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香をかおらす。」新元号「令和」はこの万葉集の歌の一節から引用されました、この歌の中には偶然にも「香友会」の香も含まれています。「令和」ほんとうにいい響きの元号です。昭和生まれの私に取りましては特に(和)の響きは懐かしく感じます。

平成30年9月8日一宮支部総会に

置きまして一宮支部長 森 卓志氏が体調不良で引退をしました。森卓志氏の残りの任期を一宮副支部長の福井孝良氏が引き受け「令和」から三名副支部長の、私、安田 正彦が次ぐことになりました。私は県立香川高等学校普通科に昭和36年4月入学、その頃は今現在運動場になっている所に木造の校舎があり、その学びの校舎の南側には体育館、北側には食堂があり、昼になれば20円のうどんが、その前では10円のパンが売られていました。道路より北側の校舎には職員室、土木科・家政科・園芸科・農業科と北運動場がそして運動場には「今日あるを感謝し日々

に進むべし」と書かれた石碑があったのを思い出します。3年生になると戦後のベビーブームで増えた生徒のために新しく新築された鉄筋4階建てにて学んだ事を思い出します。しかし、60年前の事です。少し記憶に誤りが？

未熟ですが香友会一宮支部のために尽力を尽くしたい決意です。同窓会の会員の皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今後の高松南高等学校のますますの発展と香友会の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

会員各位

一宮支部長 安田 正彦

高松南高等学校同窓会一宮支部総会ご案内

向暑の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

標題の同窓会一宮支部総会を下記のとおり開催します。

会員多数お誘い合わせの上ご参会下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 令和元年8月4日(日) 9:00~
2. 場所 田村神社社会館(一宮町)
3. 内容
 1. 開 会
 2. 支部長あいさつ
 3. 来賓祝辞
 4. 議 事
 - ・ 会務報告
 - ・ 決算承認の件
 - ・ 予算書承認の件
 5. 閉 会

卒業生リレー寄稿 15

「本気」



山西 達也

平成6年3月
普通科卒

本気になると

世界が変わってくる

自分が変わってくる

変わってこなかったら

まだ本気になっていない証拠だ

本気な恋

本気な仕事

ああ

人間一度はこいつを

つかまえないことには

坂村真民

剣道部に在籍していた時に、顧問の秋山嘉章先生から教えていただいた詩です。この詩をきっかけに、「自分が変わり、世界が変わるまで本気になって取り組んでいるか」と常に自問しながら稽古に励みました。また、もう一人の顧問の村上誠先

生からは、「常に剣道のことを考え、節制して日常生活を過ごす」という本気の姿を、村上先生の日々の言動から学ばせていただきました。

すばらしい二人の先生のご指導で、インターハイや国体などに出場することができました。

この「本気になって取り組むこと」は、高校を卒業しても常に意識しました。その結果、夢だった小学校の教員になることができました。

感受性が豊かな小学校期の子ども達は、私が本気になって接していなければすぐに見抜きます。また、一人一人の子どもの個性に合わせて関わり方を変えなければ、学級をまとめることはできません。つまりは、常に私自身が子どもの姿から学び、

多様な指導方法等について調べたり、同僚の先生に尋ねたりするなどの本気の学ぶ姿勢が問われているのです。教員は苦勞も多いですが、子ども達の笑顔がすぐに癒してくれます。また、子どもの笑顔を通して、自身自身の成長を実感できた時の喜びは格別です。

「十年目の節目」



橋本 早希

平成22年3月
専攻科看護科修了

現在勤務している教育委員会では、目の前の学級や勤務校の教育の充実という視点から、香川県や日本の教育の充実という、これまでとは違う課題に挑戦しています。この課題にも本気になって取り組むことで、新たな自分が発見でき、新たな教育の世界を感じることができると確信しています。そう考えると、ワクワク、ドキドキが止まりません。

私は、平成22年に専攻科看護科を修了しました。学生時代、毎日、自転車で片道15kmの道のりを通学しました。周囲の大人達は、勉強は十分に来ない私でしたが、その頑張る姿は唯一褒めてくれたように思いました。

国家試験も無事合格し、高校生の頃

から実習先としてお世話になった、香川県厚生農業協同組合連合会屋島総合病院に就職しました。脳神経外科・泌尿器科の混合病棟に配属となり、就職当初は、右も左も分からない私は懇々と説明や指導をしていた

だき、優しさと厳しさを持った先輩の職員の方々に育てて頂きました。日々の業務の中で出来ない事だらけで、ちゃんと勉強しとけば良かった

と何度も思いました。

しかし、今では、臨床指導者という大役を任せて頂いています。指導者としては、「その学年に合った指導をする」ことを根底に指導実践しているものの、生徒や学生も十人十色であり一筋縄では行きません。無事に実習が終了して、経験が積めるのは、周りのスタッフの力があってこそと、指導におけるチームワークに感謝しています。スタッフ一人ひとりが、自分のポジションで、時間を割いて生徒や学生に関わり、看護の道の楽しさやおもしろさ、時に厳しさと責任の重さを理解してもらっています。アプローチの方法は違いますが、その方法を学びながら、臨床指導者として自分も一緒に成長できればと思います。先輩の指導を受けて、今、後輩を育てている私は、人の絆のありがたさを感じ、母校の校訓「今日あるを感謝し、最善を尽

「高校生活で得たこと」



北谷真結子

平成24年3月
家政科卒

くして日々に進むべし」を実践しています。

私は平成二十四年三月に家政科を卒業し、現在は化粧品メーカーに就職しデパートで勤務しています。店頭で販売する活動だけでなく、プロから直伝に学ぶ研修や、イタリアへ一カ月間海外派遣に行かせて頂く機会を与えてもらいました。それには試験があり、合格するとそのチャンスを得ることが出来ます。今振り返ると周りの支えがあったからこそ結果だったと思います。試験前になると余裕がなくなり不安に駆られていた時、高校時代二年間担任して頂いた先生に相談すると、私の話を最後まで真剣に聞き、共感し、一緒に考え、背中を押してくれました。どんな時も私の見方で気にかけて、応援してくれました。そして、高校時代の腹を割って何でも話せる友人たちにも励まされ、目標に向かって頑張る事が出来ました。特に、イタリアへの派遣は一カ月間イタリア人とお

仕事をするので、言葉の壁や文化の違いを感じました。しかし、言葉が通じ合えなくても、笑顔やボディランゲージで表現したり、前向きに相手の事を考え自らアクションを起こし積極的に行動することでイタリア人と楽しく円滑に仕事することができ、沢山の学びを得ることができました。

日本人のおもてなし心や細やかな心遣いができる文化の素晴らしさを改めて感じました。その一方でイタリアのように物事を柔軟に捉え多様化する社会が日本でも、実現できたらいいなと思いました。

海外派遣を通して、自分自身の視野が広がり価値観が変わりました。高校時代の何気ない英語の授業。当たり前のように学んでいましたが、もともと疑問を持ち学ぶことで今以上に英語が身に付きイタリアで活かせるのではないかと思いました。

今、学生の方に伝えたい事は学生時代には将来役立つのか明確ではないのかもしれませんが、今までの経験全てに意味があり、必ず活かす時が来るので知識も経験も沢山自分で掴み取ってください。今後私自身は全国で活躍出来るよう経験値を高め、人間力を磨きながら自分の行動が周りの人への原動力となるよう努めてまいります。高校の友人は一生もの

とよく耳にしますが、友人だけでなく先生との出会いも一生ものです。今の環境や出会いに感謝し、今後目標に向かって頑張ります。

「留学ぶっこんだ」

平成26年3月

福祉科卒



小泉 まゆ

私は、南高校福祉科を2期生として卒業しました。福祉科は初めて自分で学びたいと選んだ学部でした。中学までは、自分から学ぼうという意識が少なかったと思います。しかし、高校では将来のために自分が知りたいと本気で思い取り組んでいました。

今、振り返ると高校時代は、友達との楽しい学校生活以外にも学べる喜びに満ち溢れていたように思います。実技試験に向けて放課後も友達と残って練習するなどしていたのがとても良い思い出です。そして、その際には、先生も残ってご指導して下さいだったことが心に残っています。

また、介護実習では学校内だけでは体験できない人との関わりを体験することができました。そして、そ

の実習で食事介助を行い、生きる上での食事の大切さを痛感し、管理栄養士として職を通じて人の幸せに貢献したいという夢を見つけることもできました。

今は、幼稚園の管理栄養士としてまだまだ未熟ではありますが、子どもたちのために毎日給食を提供しています。子どもたちの「美味しい」という声や笑顔を力に日々頑張っています。そして、今現在も学生時代と同様に毎日が学びの連続だと思っています。園児さんにとってどのような給食が良いのか、食事を楽しんでもらうためにはどうすればいいのか悩むことも多いです。しかし、学生時代の机に向かっていた時よりも、悩んだことで自分が成長しているという喜びを強く感じられています。

このように自分が感じられるのも南高校での、自ら望んで学ぶ3年間を過ごさせてもらったからだと思っています。これからも、学生時代の気持ち忘れず、日々成長していけるように努力し続けます。



「南高で得たこと」

平成30年3月

環境科学科卒



山下 宗之介

私は、平成二九年度に高松南高校の環境科学科を卒業しました。現在は高松市役所の土木の専門技師として就職しています。仕事の内容は高松の景観の保全や管理、道路などの新設改良工事を行っています。私は地元高松のために働くことにすごくやりがいを感じ、日々充実しています。こうして、高松市役所に就職できたのは高松南高校での3年間があったこそだと思っています。

高校生活を振り返るとたくさんのことが思い出されます。

部活動ではサッカー部に所属し、主に礼儀や気遣い、感謝について学びました。1年生の時は自分のことが考えていない行動をすることがよくありました。サッカーを通して日々の指導のおかげで周りをよく見るようになり、気を利かすことで周りの人からの評価も変わっていったと思います。就職した今、教えていただいた3つの事の大切さに改めて気づき、人間として大事なことを学ばしてくれた場だと、感謝していま

す。

学校では、主に農業土木について学びました。土木コースに進学し、国家資格の危険物乙四種や測量試験などの資格取得にも取り組んできました。私が思うに環境科学科の特徴は、先生方が生徒に本気になって勉強や実習などを教えてくれることだと思います。先生方のおかげで全ての資格に合格することができました。高校生活の中で一番苦労した公務員の採用試験での勉強や面接は泣きたくなくなるくらいの厳しい指導でしたが、今は感謝しかありません。ありがとうございます。

そんな高校生活の中で私の一番の支えとなったのが友達です。楽しい時も苦しい時も一緒に笑ってくれる友達がいるから頑張っていたと思います。互いに切磋琢磨しあいながら進んでいくことで互いの成長にも繋がっていったと思います。

最後に、私を大きく成長させてもらった高松南高校に入学してよかったです。たくさんの出会いがあり、学校生活を最高に楽しむことができました。これから、まだまだ人として成長するために失敗を恐れず何事にも挑戦し続け、新たな目標に向かって頑張りたいと思います。

平成三十年度のおもな成績



〈ソフトボール部(女子)〉

○県総体 優勝(四国・全国大会出場)
○県新人 優勝(全国大会出場)

〈剣道部(男子)〉

○県総体 団体 ベスト8
○段別大会 2段の部 優勝

〈剣道部(女子)〉

○県新人 個人 ベスト8
○段別大会 初段の部 優勝・(四国大会出場)

〈相撲部〉

○県総体 団体 優勝
個人 優勝

○県選手権 団体 優勝
個人 優勝

○県新人戦 団体 優勝
個人 優勝

〈バレーボール部〉

○県総体 優勝
(四国・全国大会出場)

○県選手権 優勝(全国大会出場)
○県新人 優勝(四国大会優勝)

〈ハンドボール部(男子)〉

○県総体 男子4位 女子3位
○選抜大会県予選 男子4位 女子3位

○県新人 男子4位 女子3位

〈テニス部〉

○県新人戦 団体3位
ダブルス3位

○県総体 ダブルス3位
(四国大会出場)

○県夏季大会 団体3位
○県春季大会 ダブルス 準優勝

○県新人 男子4位 女子3位



〈バスケットボール部(女子)〉

○県総体 ベスト4(四国大会出場)
○選抜大会県予選 ベスト4

○県新人 準優勝(四国大会出場)

〈水球部〉

○県総体 優勝
(四国大会出場)

○県新人 優勝

〈サッカー部〉

○高田宮杯U-18 サッカーリーグ
1部-5位 2部-8位

○県選手権 ベスト8
○県新人 ベスト8

〈弓道部〉

○選手権大会県予選
女子個人 3位

〈書道部〉

○全国高校書道展 特選
○全国書道展 特選

○国際高校生選抜書展 優秀賞

〈写真部〉

○県総文祭展覧会写真展 奨励賞
○香川女性写真コンテスト

○高校の部-優秀賞
○高校弓道マガジン

○夏の高校野球フォトコンテスト 最優秀
香川県本部長賞

〈吹奏楽部〉

○全日本吹奏楽コンクール
香川県大会 金賞

○全日本吹奏楽コンクール
四国支部大会 銀賞

〈環境科学部〉

○香川県学校農業クラブ連盟
意見発表会 出場

○平板測量競技会 出場
コンクリート甲子園 総合3位

○平板測量競技会 出場
第8回たかまつ

○緑のカーテンコンテスト 入賞

〈美術部〉

○県総文祭展覧会立体部門 優秀賞

〈合唱部〉

○県総文祭音楽会 入賞
○全国高等学校総合文祭 文化連盟賞

〈放送部〉

○香川県高校放送コンテスト
ラジオドラマ部門 3位
ラジオ番組部門総合 4位

令和元年度

南 高 祭

テーマ

『令和ッショイ!』
New Southern Festival

【9月7日(土)】

9:30~14:50

(終日一般公開)

バザー、野外展示、教室展示、ステージ発表、看護科展、環境科学科展、生活デザイン科展、福祉科展、環境科学科園芸コース即売、家政科服飾コースコスチュームショー等

妙技！中国雑技団公演

昨年度は校名変更記念の年となっていました(香川高校七十年、高松南高校五十年)。

香友会では理事会で承認を得て、九月八日(文化祭公開日)に北体育館で香友会主催の中国雑技団公演をしました。



中国雑技団出身で、「ハッスルマッスル」公演でもおなじみの常玉星さん、趙さんが来られ、妙技を披露してくれました。常さんは達人技である「飛叉」、鞭の技、そして本場中国でも少数しか免許皆伝されていない「変面」を披露してくれました。常さんは観衆の間近で変面したり、見ている方を舞台上上げてアシストをお願いするなど、観客と一体となったステージとなりました。また、趙



さんの一輪車の技には驚嘆の声が上がっていました。お二人ともとても気さくな方で、素晴らしい公演でした。

当日は全校生徒に加え、香友会の支部の方々も見に来ていただきました。みんなが楽しめる、良い記念行事になりました。



頑張れ！大喜翔関

本年三月に環境科学科を卒業した白川大貴さんが大相撲の追手風部屋に入門しました。

初の土俵となる場所では、四国の高校チャンピオンの力を發揮し、見事勝ち越しをしました。今後も活躍してくれるよう期待して、香友会で

も応援していきたいと思います。本人が手記を寄せてくれたので、掲載します。

私は卒業式が終わると直ちに上京して大相撲の追手風(おいてかせ)部屋に入門し、その翌日からは毎日厳しい稽古に励んでいます。

私が相撲を始めたのは、小学校四年生の時でした。相撲クラブの監督に誘われたのがきっかけで、初めて「まわし」を締めたのですが、当初は、遊び半分に相撲をとっていましたが、しかし、試合に勝つたびに面白くなり、遊びから本気が変わっていききました。

中学生の時には、全国大会で好結果が残せず「このままでは終われない。終わらたくない」という気持ちになり、本格的に相撲をするため南高への入学を決めました。

南高相撲部での稽古は厳しく、逃げ出したくなることもありましたが、そのたびに「我慢、我慢また我慢」



と自分に言い聞かせて三年間を過ごしました。そうすると、自ずと試合で結果を残せるようになりました。一番印象に残っている試合は、三年生の時の四国総体の個人戦決勝です。決勝は今まで一度も勝つことがない相手でしたが、「勝っても負けても自分の相撲をとろう」と攻めることだけを意識して戦い、優勝することができました。四国総体での香川県勢の個人優勝は初めてということもあり、大いに自信になりました。

高校卒業後の進路として、大学への進学が大相撲への入門かを迷いましたが、大相撲というプロの世界で自分の力を試したいと思う気持ちが強く、追手風部屋に入門しました。相撲界は非常に厳しいですが、南高で培った「我慢、我慢また我慢」の精神を常に心に留め、壁を乗り越えていきたいと思っています。



白川 大貴

相撲部屋では新弟子として、早朝六時に起床しての朝稽古に始まり、昼と夜のちゃんこ(食事)の準備、部屋の掃除、洗濯など消灯時間まで慌ただしい日々を過ごしています。稽古後にはちゃんこ鍋を食べますが、鍋の中の野菜やデザートの果物を口にするたびに生産者への感謝の気持ちがわいてきます。それは、環境科学科で野菜などの農作物を栽培する難しさや苦労を経験しているからです。

今は、郷土で応援してくださる皆さんの期待に応えられるよう、また、一日でも早く関取になれるよう猛稽古の毎日です。頑張りますので、よろしく願います。

高松南高等学校吹奏楽部

第40回定期演奏会

【日時】2019年8月20日(火)
【開場】18:00 【開演】18:30
【会場】サンポートホール高松 大ホール

指揮／石原 修
三好 佑果
中川 理康

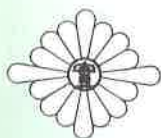
演奏曲目
・「ディヴェルティメント」より
レ・パンストタイン
・ミュージカル「ミス・サイゴン」より
(C.M. シェーンベルク)
・エレジー (フォーレ)

【ゲスト】横山 歌織 (チェロ奏者)
主催 高松南高等学校吹奏楽部・OB会 後援 香川県吹奏楽連盟

高松南高等学校吹奏楽部 第40回定期演奏会

【日時】2019年8月20日(火)
【開場】18:00 【開演】18:30
【会場】サンポートホール高松・大ホール
主催 高松南高等学校吹奏楽部・OB会 後援 香川県吹奏楽連盟

入場無料



令和元年度香友会評議員会及び 総会の開催について(ご案内)

向暑の候、会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。
さて、例年のとおり、同窓会(香友会)の通常総会を下記日程にて開催いたしますので、友人、知人、
お誘い合わせの上ご出席くださるようご案内申し上げます。

- | | | | | | |
|-------|-------------|---------|-------|----------------------|--------|
| 1. 日時 | 令和元年8月4日(日) | 10:00～ | 2. 場所 | 評議員会・総会 | 田村神社会館 |
| | | | | 懇親会 | 田村神社会館 |
| 3. 日程 | 9:30～10:00 | 受付 | 4. 議事 | ①平成30年度事業報告並びに会計決算報告 | |
| | 10:00～11:00 | 評議員会・総会 | | ②令和元年度事業計画案並びに会計予算案 | |
| | 11:00～ | 懇親会 | | ③その他 | |

- 恐れ入りますが、準備の都合上、ご出席いただける方は7月24日(水)までに、電話、ファックス等で事務局までご連絡下さい。
- 懇親会の会費(4,000円)は、当日徴収させていただきます。

香川県立高松南高等学校香友会事務局

亀田 直樹

TEL (087)885-1131 FAX (087)885-1133

----- ✕ ----- 切り取り線 ----- ✕ -----

FAX送付書(高松南高等学校 FAX番号087-885-1133)

令和元年 月 日

香川県立高松南高等学校香友会事務局宛

送信者ご芳名

ご住所

T E L

令和元年度香友会総会(8月4日)10:00～

() 出席します

令和元年度香友会懇親会(8月4日)11:00～

() 出席します

・その他連絡事項